



日章学園九州国際高等学校校長便り 睦月
 建学の精神：道義に徹し、実利を図り、勤労を愛す
 学園スローガン：**前進**
 学校教育目標：国際的視野と人間性豊かな心を持ち、自ら学び考え、自己の課題を解決できる生徒を育成する。
 令和8年(2026年)1月8日(木)校長 屋田伸仁



明けましておめでとうございます。
 今年は午年です。馬にまつわるおめでたいものに、**神馬(しんめ)**があります。これは、神様が乗る馬です。古来から馬が神社に奉納されていましたが、最近は、生きた馬でなく、模型の馬や**絵馬**が奉納されることが多くなりました。

次に、馬に関することわざで、有名なものの一つに、「**塞翁が馬**」があります。皆さんは、国語で習ったと思いますので、あらすじはよく知っていると思います。塞翁から、一つ学んでほしいのが、塞翁の「**前向きな生き方**」です。飼っていた馬が逃げ出して、まわりの人達から同情されて自分が落ち込みそうになる状況でも、塞翁は、ニコニコ笑顔で明るい未来や運命を信じています。そうしていると、まもなく、逃げた馬がたくさんを引連れて戻ってきました。

また、ある時、息子さんが落馬して大けがをしました。本来なら、その不運を嘆き悲しむところを、塞翁はいいことが起きると信じていました。まもなく戦争が起きましたが、息子さんはケガをしていたので徴兵されず、戦死せずに済んだという話です。塞翁の**好運を信じる力**は、実際にその通りになったのです。**ポジティブに前向きに考える**塞翁の生き方を見習いたいと思います。

前進 Move forward

今年の日章学園のスローガンは、**前進**です。英語の訳ではチャット GPT によると、**Move forward**が最適だということでした。この前進という言葉の力を企業経営に使った人に、松下電器(パナソニック)の創業者の**松下幸之助**がいました。彼は、自分は常に「**運が強い**」と自分に言い聞かせていました。本当は強いかわからないのですが、それを強いと考えるのだそうです。たとえば、自転車に乗っていたとき車に衝突して道路上に倒れ、電車にひかれそうになったときも、自分は死ななかつた、運が強いと考え、信じるのです。普通なら、なんて運が悪いんだと思うところを彼は、あー自分はなんて運がいいんだと思うのです。これは、塞翁じいさんと人生観が似ています。自分は運がよくないと思う人は、毎朝、鏡の前に**自分は運がいい、ツイてる、自分はすごい、素晴らしいと笑顔で自分をほめる**ことを日課にしてみてください。次第に人格が変わって、運命もきっと好転すると思います。いよいよ、四月から**ホースセラピーコース**が始まります。**セラピーホース**という**神馬に乗って、学校の発展を大きく「前進」させていきたい**と思います。

